

## プレゼンテーションのスキル vol.10

ファイナンシャルプランナー 岩城みずほ

寒さが身にしみる季節になりました。風邪を引かないように気をつけなくては、ですね。これまでの経験上、やはり風邪予防には、基本的なことですが、まめな手洗いとうがいが効果的なようです。そして乾燥しないように加湿に気をつけること。健康管理に気をつけて、これから訪れる寒い冬を元気に乗り切ってまいりましょう！

さて、今回はボディ・ランゲージにお伝えしました。

今回は、説明資料のビジュアル化について考えたいと思います。ビジュアル化というのは、パワーポイント等を使って表現することをさしています。せっかくのプレゼンテーションですから、視覚的に訴える効果は高められた方がよいのは当然ですね。

ビジュアル化することで得られる効果は以下のことがあります。

- 1) 言葉だけで伝えるより、より多くの情報量を短時間で伝達できる。
- 2) 言葉だけで聞くより、記憶に残る。
- 3) 言葉だけでは伝わりにくい情報を、よりわかりやすく伝達することができる。
- 4) イメージ情報はインパクトが強いので、聞き手の関心をよりひくことができる。
- 5) ビジュアル化することで、プレゼンテーションを理路整然と行うことができる。

最近は、セミナーでパワーポイント等を使っていらっしゃる方がほとんどです。資料作りには手間と時間がかかりますが、レジュメだけで進行するより、プレゼンターにとっても、進行状況の現在地が把握しやすいという大きなメリットがあります。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

画像をつくるポイントは、1つの画像で1つのトピックセンテンスとすることです。たまに、テキスト分を画面一杯に書き連ねているのを拝見することがありますが、上記のような効果を半減させてしまう結果になりかねないのかなと思います。

基本的な考え方は、画像の文字は、聞き手の理解を助けるものなので、お手元におくばりするレジュメと同じものでなくてよいと思います。配布する資料とのリンクがスムーズになる工夫は必要ですが。例えば、番号をふる、資料の該当箇所をご案内するなどです。

しかし、ポワポと全く同じものが欲しいとおっしゃられる方もいらっしゃって、難しいところです。(これについては色々な問題を含むので今回はコメントを差し控えさせていただきます)

1つのスライドへの書き込みは5行前後がマックスで、内容にあったイメージ画像やグラフ、チャートなどを添付することで興味をひき、印象に残るようになると思います。ごちゃごちゃしない程度に色を使うことも大切です。アニメーションも効果的です。

要は、聞き手の立場に立って、作成するという事に尽きますね。

進行中は、質問をする、話し合ってもらう、ワークをしてもらう、発表してもらいなど、聞き手が積極的に参加できる場面をつくっていくことも大切です。聞き手に高いレベルで、聞こうという意識を維持してもらえる工夫ですね。

今回は、プレゼンの実践的な流れについてお話したいと思います。